

## 平成 28 年度病害虫発生予察特殊報第 2 号

平成 28 年 6 月 22 日  
静岡県病害虫防除所長

1 病害虫名 和名：ブルーベリータマバエ（仮称）（ハエ目：タマバエ科）、  
学名：*Dasineura oxycoccana*(Johnson)、英名：blueberry gall midge

2 発生作物 ブルーベリー

### 3 発生経過及び状況

平成 28 年 4 月に県西部地域のブルーベリー施設栽培ほ場において、新梢先端部にハエ目タマバエ科の幼虫の寄生と被害が確認された。採取した幼虫を農林水産省名古屋植物防疫所で羽化させ成虫とし、佐賀大学徳田准教授に同定依頼した結果、*Dasineura oxycoccana*(Johnson)（英名：blueberry gall midge）と同定された。

その後、初確認のほ場だけでなく、県西部地域のブルーベリー施設栽培ほ場及び露地栽培ほ場においても本種の発生が確認された。

### 4 海外及び国内での発生状況

本種は、北米原産で、平成 8 年にヨーロッパで初めて確認され、平成 20 年に韓国で発生が確認されている。現在まで、アメリカ、カナダ、イタリア、イギリス、韓国等で発生の報告がある。

国内では平成 27 年 6 月に群馬県で初めてブルーベリーでの発生と被害が確認され、国内初発見の記録として、平成 28 年 1 月に群馬県から病害虫発生予察特殊報として発表された。

### 5 被害

幼虫がブルーベリー新梢先端部の未展開葉を食害し、新梢先端部を枯死させる（図 1）。新梢が出るたびに被害にあうと、枝が伸びずに分岐してしまう。

なお、果実への加害は確認されていない。

施設栽培、露地栽培ともに寄生は確認されているが、被害が大きいのは、施設栽培における春季の新梢伸長期である（図 2）。

### 6 特徴

#### (1) 形態

幼虫は体長約 2mm のウジ状で、体色は白色から黄色で成熟するにつれてオレンジ色を帯びる（図 3）。成虫は蚊を小さくした様な形態で体長約 2～3mm、触角は数珠状で翅は翅脈が少ない膜状である（図 4）。

#### (2) 生態

国内における生態は不明だが、海外の文献によれば、花芽や枝先の生長点を包んでいる未展開葉の隙間に 5～10 個（最大 20 個）を産卵し、約 2～3 日でふ化した幼虫は先端部の植物組織を食害する。本種はブルーベリーへの加害の報告はあるが、その

他植物では不明である。なお、アメリカフロリダ州北部では、1～6月にかけて5～6世代、ミシシッピ州では2～11月にかけて約11世代発生する。成熟した幼虫は土中で蛹になり休眠して越冬することが報告されている。

## 7 防除対策

- (1) 平成28年6月現在、ブルーベリーにおいては本種に対する登録農薬はない。
- (2) 新梢の寄生部位を切除し、直ちに袋に入れ密封処理を行い、死滅させる。
- (3) ブルーベリー施設栽培において、施設内を防根シートで覆うとともに、栽培用ポット上面部にマルチをすることで、成虫への羽化を減らすことができる。
- (4) 本種と疑わしい個体及び被害を見つけた場合は、病害虫防除所に連絡する。



図1 新梢先端部の食害



図2 ブルーベリー施設栽培ほ場の被害



図3 若齢幼虫 (体長約2mm)  
成熟した幼虫 (右上拡大写真)



図4 成虫 (体長約3mm)

問い合わせ先： 静岡県病害虫防除所 TEL. 0538-36-1543